



102名が潮見小を巣立ちました

3月24日（月）に卒業式を行いました。この日は、1年生から4年生までは短縮授業だったので大変慌ただしかったようです。ちょうど、1年生から4年生が下校する際に、6年生が登校してきたので、下学年の子どもたちは6年生に手を振って下校していました。

下学年に慕われていた6年生だということがよく分かる一コマでした。

6年生は、卒業式に向けて練習をしてきましたが、本番の今日が、やはり一番声が出ていましたし、程よい緊張感をもって式に臨んでいました。本番に強い6年生です。

今年の6年生は、何事にも真面目に取り組みました。普段の授業の様子を見ていましたが、とても集中して学習活動を行いました。委員会への取組、下学年の対応などを見ても、「さすが最高学年」と思わせることが多くありました。以前にもお伝えしましたが、校内美化にも継続的に取り組み、下学年に手本を示していたことも象徴的です。そんな6年生が、潮見小を後にするのは大変残念ですが、頼りになる5年生が控えています。

卒業式では、6年生の方をしっかりと向いて卒業生の姿を目に焼き付けていました。真剣なまなざしがとても印象的でした。来年度に向けての心構えがしっかりできていると感じました。

6年生には、私から「可能性」について伝えました。詳細は、次頁の式辞を改めてご覧ください。可能性あふれる102名の潮見っ子のこれからの期待をしています。

6年生の保護者の皆様、これまで潮見小学校の教育活動にご協力いただき、ありがとうございました。今年度で潮見小学校とお別れされる方もいらっしゃると思いますが、引き続き潮見小学校へのご支援をお願いいたします。下のお子様がいいらっしゃる保護者の皆様は、今後ともよろしくをお願いいたします。ご来賓の皆様も、本日はありがとうございました。



令和6年度 卒業式 式辞

学校の桜の蕾が膨らみ、春風に心地よさを感じるようになりました。

このようなよき日に松山市役所潮見支所長様を始め、ご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜り、令和6年度卒業証書授与式を行うことができますことに、心からお礼申し上げます。

さて、本日、創立150周年という記念の年に、潮見小学校を巣立って行く102名の皆さん、卒業おめでとうございます。最高学年として、潮見小学校や下学年のために率先して行動し、よき伝統を築きました。昨年度は集団宿泊活動、今年度は修学旅行を共にした皆さんの成長ぶりを、私も実感しています。

そんな皆さんに、今から、「可能性」ということについてお話しします。

私は、野球が好きなのですが、私がこれからどんなに頑張ろうと、科学の技術が発達しようともプロ野球選手にはなれません。しかし、みなさんであれば、私とは比べ物にならないくらいほど、なりたいものになれる可能性が広がっています。

3年生の時にヒマワリの観察をしたはずですが、数cmほどしかないヒマワリの種が、2m近く成長し、大きな花を咲かせ、たくさんの種を残すことに驚きを感じたのではないのでしょうか。みなさんは、いろいろな花や実をつける可能性をもった種のような存在です。ただし、種をそのまま置いていても発芽はしませんね。これも、5年生の理科で学習した発芽の条件を思い出してみましょ。発芽には、水、空気、適切な温度が必要でした。つまり、私が言いたいのは、みなさんは無限の可能性を秘めた種なのですが、じっとしては芽が出てきにくい、ということですよ。

では、どうすれば芽が出てくるのでしょうか。

まずは、自分の可能性を信じていること。困っている人を笑顔にしたい、世界が驚くような大発明をしたい、とといった目標をもつことが大事です。どんな花を咲かせたいのか、イメージをもっておきましょう。

次に、可能性に向けて努力をすること。「毎日こつこつ努力することが遠回りに見えて一番の近道」と言ったのは、大リーグ大谷翔平選手です。地道な努力の積み重ねが、今の活躍につながっています。自分の成長のためにどんな努力ができるのか、じっくり考えてみましょう。

最後は、人と関わること。人と関わることで考え方が広がったり、深まったりします。他の人から刺激を受けることで、自分の可能性を明確にすることもできます。これからたくさんの人と出会いますので、自分から進んで関わっていきましょう。

私は、野球選手にはなれませんが、自分の可能性を信じています。みなさんも無限大の可能性を信じて、潮見の宝、ダンちゃんに関わった人のように優しく、イトスギのように大きく成長してほしいと思います。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、まことにおめでとうござい。立派に成長した姿をご覧になり、これまでのご苦労や喜びが思い起こされ、感慨もひとしおでないかと思。心よりお祝い申し上げますと共に、これまで本校に賜りましたご支援に感謝申し上げます。

では、皆さん、健康に気を付けて、自分の可能性を信じて中学校生活をよりよいものにしていきましょう。陰ながら応援しています。

令和7年3月24日



松山市立潮見小学校 校長 池川 仁

